Hokusei Gakuen 130th Since 1887

学校法人北星学園は創立130周年を迎えました。

大谷地だより

Vol.77
発　行
北星学園大学同窓会
札幌市厚別区大谷地西2−3−1
TEL（011）891−2731
発行責任者　松倉　千春
編集責任者　事務局編集委員
印刷　北海道リハビリー

同窓会総会・懇親会が開催されました。

2017年10月21日（土）、2016年度北星学園大学同窓会総会・懇親会が札幌全日空ホテルにて開催されました。

午後4時半からの定期総会には51名の方が出席され、議案1『2016年度活動報告・会計決算報告及び会計監査報告について』、議案2『2017年度活動計画・会計予算について』、議案3『会則の一部改正について』、議案4『役員の改選について』をそれぞれ協議しました。今年は「同窓会独自の奨学金制度を立ち上げたい」、「役員の任期制を設けてはどうか」など、活発な意見が多く出されました。議案は概ね原案通り承認されましたが、事務局として今後検討していかなければならない課題が多くあることを実感いたしました。

その後の懇親会には144名の方が出席され、日髙チャプレンの司式により讃美歌、聖書朗読、祈祷が行われ、松倉同窓会会長、樋田常務理事よりご挨拶をいただきました。

また、招待教員として本学名誉教授の鹿内啓子先生をお招きしご挨拶をいただきました。鹿内先生にお会いしたいという思いから初めてこの懇親会に参加してくださった同窓生もおり、学生たちに大変慕われている鹿内先生の優しいお人柄を感じました。

その後、今年度採用された奨励生の片山由貴さんからもご挨拶いただき、田村信一学長の乾杯で会食がスタートしました。

多くの同窓生はもちろんのこと、旧教職員の石川恒夫先生、三宅章介先生、米本秀仁先生、舛森匡子さんや各支部の方々も出席してくださいました。

にぎやかな懇親会が続く中、在学生によるアトラクションとして、「アカペラサークル ぽらりす．」と「演舞同好会」が出演し、会場を一層沸かせました。

その後、同窓会役員表彰や各支部活動報告があり、支部設立30周年を迎えた函館支部の畑中博史支部長の閉会の乾杯で、楽しくも和やかな懇親会は終了いたしました。

年に一度のこの定期総会・懇親会は、懐かしい教職員の方や同窓生同士の親睦を深める会となることを願い開催しております。今年の定期総会・懇親会は、2018年10月20日（土）です。大谷地キャンパスでの施設見学を行い、懐かしいチャペルや新しくなった校舎を同窓生の皆様に紹介したいと考えております。ぜひ次回も多くの皆様のご出席を心よりお待ちしております。

松倉会長と同窓会奨励生たちを囲んで　写真提供：写真工房ピクセル・グラフィックス

田村信一学長

本学名誉教授の鹿内啓子先生

演舞同好会によるアトラクション

アカペラサークル ぽらりす．によるアトラクション

学長先生を囲んで（短大の同窓生のみなさん）

新入会員の方々へ

勇気を持って行動を！

同窓会 会長　松倉　千春

2017年も国内外様々なニュースがありました。海外の話題では1月に米国でトランプ大統領が就任し、彼の発言は何かと世界で大きな波紋となっております。日本も10月に衆議員選挙が行われ自民党が圧勝となり今後の日本の方向性が問われています。私たちは日々多くの情報の波にさらされながら毎日を暮らしています。

1990年代にインターネットが目覚ましく普及してから25年余り経った今もなお、急速に発展し続けています。それ以前、私たちは、新聞、テレビ、ラジオ、雑誌等を情報源としておりました。それに対して今は、SNSの普及により個人が手軽にパソコン、スマートフォン、タブレット等から多くの情報を求めることが可能となっています。これらのことは1960年代に学生時代を過ごしてきた私にとっては本当に驚きであります。

しかし多くの情報を簡単に得ることができる一方で、新たな困難な問題にも直面しているのではないでしょうか。

私たちは、それらの膨大な情報から有用な情報を選択する力を以前にも増して養う必要があるのです。そのためには一人一人が人としての「知識と教養、そして心の質」を高めていくことしかありません。その大切な学びの場が「大学」ではないでしょうか。

皆さんはこれから、理屈だけでは通らない不条理なことを社会の中で多々経験されるでしょう。しかし決してくじけないでください。自分の可能性を信じて「勇気を持って行動」してください。

同窓会は様々な取り組みを大学と協力して行っていきます。新会員となられる皆さんの積極的な同窓会への活動を期待します。

退職のご挨拶

退職にあたって

学長　田村　信一

私はこの3月をもって学長の任期を終え、同時に退職することになりました。学長就任は2012年8月ですが、その前の4か月間、学長事務取扱として執務していましたので、実質的に6年間学長の職を遂行してきたわけです。この間、本学には様々なことがありました。大学開学50周年記念行事、元学長土橋信講義とゼミを担当し、卒業生を送り出してきました。どちらかと言えば私は研究者タイプで、専門演習では難解な専門書を輪読し、合宿で缶詰めにしました。それでも辛抱強く付き合ってくれ、当時を懐かしむ卒業生が数多くいて、現在でも訪ねてくれることは、大学の教師冥利に尽きると思っています。

本学での37年間の大学教員生活を通じて、私は研究者・大学教師として成長することができました。北星へのささやかな恩返しとして学長を引きうけたのですが、すべてではないにしても、私のすべきことを終えて、次期学長にバトンを渡したいと思います。ありがとうございます。

私はこの3月をもって学長の任期を終え、同時に退職することになりました。学長就任は2012年8月ですが、その前の4か月間、学長事務取扱として執務していましたので、実質的に6年間学長の職を遂行してきたわけです。この間、本学には様々なことがありました。大学開学50周年記念行事、元学長土橋信講義とゼミを担当し、卒業生を送り出してきました。どちらかと言えば私は研究者タイプで、専門演習では難解な専門書を輪読し、合宿で缶詰めにしました。それでも辛抱強く付き合ってくれ、当時を懐かしむ卒業生が数多くいて、現在でも訪ねてくれることは、大学の教師冥利に尽きると思っています。

本学での37年間の大学教員生活を通じて、私は研究者・大学教師として成長することができました。北星へのささやかな恩返しとして学長を引きうけたのですが、すべてではないにしても、私のすべきことを終えて、次期学長にバトンを渡したいと思います。ありがとうございます。

同窓会各支部連絡先

旭川支部（1983年発足）
新支部長　西岡　将晴　090－7648－1997
kembuchi2000@yahoo.co.jp
★2016年から西岡支部長に交代しました！

帯広支部（1985年発足）
新支部長　成田　啓介　(0155) 56－4706
（特養札内寮）
mansei@cameo.plala.or.jp
★2017年から成田支部長に交代しました！

北見支部（1987年発足）
支部長　三浦　鶏一
連絡先は北見支部総務
関口　篤司 まで　090－8909－3316
atsushi.sekiguchi@city.kitami.lg.jp

東京支部（1988年発足）
支部長　遠田　嘉憲　(04) 2949－6726
ysr-enda@tbz.t-com.ne.jp

函館支部（1988年発足）
支部長　畑中　博史　(0138) 46－2537
hiro-121@sea.ncv.ne.jp

釧路支部（1989年発足）
新支部長　角　　隆史　(0154) 65－9812
kaku4744@msn.com
連絡先は一般社団法人 釧路社会的企業創造協議会副代表
櫛部　武俊 まで　(0154) 25－0288
★2016年から角支部長に交代しました！

千歳支部（1996年発足）
新支部長　千葉　英二　(0123) 24－5564
hirom78cosmos.@docomo.ne.jp
★2017年から千葉支部長に交代しました！

2017年度 北星学園大学同窓会 役員名簿

＊任期：2017年10月～2019年9月

本部関係		
役職	氏名	卒業年
会長	松倉千春	社 69.3
副会長	佐藤桂子	家 57.3
〃	森谷恭一	英 78.3
幹事	栗山淑子	家 57.3
〃	小村知江子	短英 65.3
〃	斎藤美代子	短英 67.3
〃	中村一寛	経 71.3
〃	有澤睦子	英 74.3
〃	築地千穂子	社 75.3
〃	森　博	経 79.3
〃	森　康雄	経 82.3
〃	池田雅子	社 82.3
〃	北本佳子	家 84.3
〃	宮内　聡	社 87.3
〃	清水一江	家 87.3
〃	伊藤　修	経 90.3
〃	鈴木克典	情 91.3
〃	髙橋　章	経 96.3
〃	牧田浩一	社 97.3
〃	片岡　徹	英 97.3

本部関係		
幹事	山鹿貴子	短英 97.3
〃	木村哲晃	経 01.3
〃	戸松真洋	情 02.3
〃	駒ヶ嶺剛史	経 05.3
〃	馬渕慎吾	情 06.3
〃	棟方雅恵	心コ 09.3
〃	今井綾子	法 10.3
〃	林　孝之	院社 12.3
〃	川田麻里奈	情 12.3
〃	久保田貴仁	英 17.3
会計監査	佐藤淳哉	計 11.3
会計監査	幸坂敬徳	非同窓生／大学職員

支部関係		
役職	氏名	卒業年
旭川支部長	西岡将晴	経 98.3
帯広支部長	成田啓介	社 90.3
北見支部長	三浦鶏一	社 91.3
東京支部長	遠田嘉憲	経 69.3
函館支部長	畑中博史	社 78.3
釧路支部長	角　隆史	経 96.3
千歳支部長	千葉英二	経 80.3

同窓生の紹介

「はーい！中嶋あゆみです！」この一言から始める仕事に就いて今年でもう6年になります。ラジオの仕事は、2008年に卒業した北星学園大学文学部　心理・応用コミュニケーション学科に在学中からの変わらぬ夢でした。現在はAIR－Gエフエム北海道にて、ラジオパーソナリティとして活動しています。

担当している3番組のうち、「学生情報バラエティ～エンタク！～」という北海道の学生を招いてトークをする番組では、現役学生と話しながら、北星学園大学に通っていた頃の自分を思いだしています。面白いものを面白いと思う素直な心、チャレンジする勇気を当たり前に持つこと…。今、私が持つ個性は、心コミで培ったものだなと日々感じます。教壇に立ちながらも多彩な活動をされているバイタリティ溢れる教授陣に、社会人の立場になって改めて尊敬の念を抱くようになりました。若いうちから刺激を受ける環境にいられた感謝の気持ちでいっぱいです。これからも北星卒の皆さんが、豊かな心でのびのびと活躍しますように！

ラジオの仕事のほか、札幌市を中心に北海道でイベントやセレモニーのMC、ナレーションなどもしています！何かございましたら是非！（笑）

中嶋あゆみ さん

収支決算・次年度予算報告

2016年度 収支決算書

【通常会計】
2017.10.21　総会
（単位：円）2017.10.12　幹事会

＜収入の部＞

費目	予算	決算	備考
前年度繰越金	6,320,156	6,320,156	預金（北洋銀行　6,257,005）、現金（63,151）
同窓会費	23,600,000	23,600,000	@20,000×1,180
総会懇親会費収入	238,000	323,000	@1,000×64、@3,000×85　不明金@4,000
プロジェクト	60,000	79,301	コンサート・講演会等募金
利息等	0	0	
雑収入	0	70,000	ご祝儀、幹事懇親会費
合計	30,218,156	30,392,457	

＜支出の部＞

費目	予算	決算	備考
Ⅰ．事務費	4,900,000	3,547,495	
1．会議費	500,000	289,388	幹事会（163,800）、役員打合せ（9,030）、ご祝儀（55,000）、その他（61,558）
2．交通費	4,000,000	3,033,242	幹事会（118,160）、総会等派遣：本部（773,980）、支部（588,130）、会長交通費（1,146,420）、その他（406,552）
3．通信費	200,000	155,840	振込料（64,320）、ハガキ・切手（66,860）、慶弔電報（11,251）、その他（13,409）
4．物品費	100,000	48,072	事務消耗品
5．印刷費	100,000	20,953	リソグラフ、コピー機使用代
6．雑費	0	0	同窓会会費返還 なし
Ⅱ．事業費	16,850,000	14,718,487	
1．名簿作成費	0	0	卒業生住所録
2．行事費	4,000,000	3,042,482	卒業生記念品（932,100）、懇親会（1,446,360）、退職者記念品（90,000）、永年表彰記念（75,000）、奨励生の集い（100,000）、その他（399,022）
3．同窓会文庫費	400,000	400,000	寄贈図書
4．補助費	4,200,000	4,300,156	各支部補助（3,893,000）、英研・大学祭・体育祭補助（378,292）、サークルOB通信費（28,864）
5．奨励費	200,000	100,000	@50,000円×2名
6．会報発行費	5,350,000	5,153,995	大谷地だより75号、76号印刷代（1,088,964）・郵送料（2,846,234）・封入作業．封筒作成（1,173,581）、その他（45,216）
7．業務委託費	700,000	660,006	名簿整備、懇親会司会者謝礼 他
8．プロジェクト活動費	1,000,000	561,848	交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
9．寄附	1,000,000	500,000	北星学園創立100周年記念館運営、北星学園大学施設設備等
Ⅲ．予備費	2,018,156	0	
Ⅳ．資金積立金	6,000,000	6,000,000	札幌中央信用組合へ積み立て
Ⅴ．奨学金積立金	450,000	0	「Ⅴ．奨学金積立金」として積み立てず、次年度に繰越す。2017年度以降は、補助費とする。2017年度より項目削除
Ⅵ．次年度繰越金	0	6,126,475	預金（北洋銀行　6,082,551、札幌中央信用組合　1,000）、現金（42,924）
合計	30,218,156	30,392,457	

【活動資金積立会計】　（単位：円）

活動資金積立	2015年度	利息	当期積立額	2016年度	備考
合計	65,720,030	6,126	6,000,000	71,726,156	

2017年度 会計予算

2017.11.16　幹事会
（単位：円）2017.10.21　総会

費目	予算	備考
【収入の部】		
前年度繰越金	6,126,475	預金（6,082,551）、札幌中央信用組合（1,000）、現金（42,924）
同窓会費	23,120,000	@20,000×1,156
総会懇親会費収入	320,000	@3,000×75名　@1,000×50名
プロジェクト	60,000	コンサート・講演会等募金
利息等	0	
雑収入	0	
活動資金からの繰り入れ収入	0	
＜収入計＞	29,626,475	

費目	予算	備考
【支出の部】		
Ⅰ．事務費	4,300,000	
1．会議費	400,000	支部長会議（60,000）、幹事会（170,000）、役員打ち合わせ（200,000）、ご祝儀（60,000）他
2．交通費	3,500,000	幹事会等（200,000）、総会等派遣：本部（1,000,000）　支部（800,000）、会長交通費（900,000）、支部長会議（350,000）他
3．通信費	200,000	振込料（70,000）、ハガキ・切手（70,000）、慶弔電報（30,000）他
4．物品費	100,000	事務消耗品 他
5．印刷費	100,000	リソグラフ、コピー機使用代
Ⅱ．事業費	18,950,000	
1．行事費	4,000,000	卒業生記念品（1,600,000）、懇親会（2,000,000）、退職者記念品（150,000）、永年表彰金品（100,000）、奨励生の集い（120,000）他
2．同窓会文庫費	400,000	寄贈文庫
3．補助費	5,600,000	各支部補助（3,393,000）、周年事業費：釧路（200,000）、英研・学祭・体育祭補助（400,000）、サークルOB通信費（30,000）、新規：派遣留学生への支援（1,000,000）他
4．奨励費	400,000	@100,000円×4名（奨励金　増額）
5．奨学費	1,000,000	新規：自宅外通学支援奨学金の一部を同窓会が奨学金として負担（2016年度から各支部補助を450,000×2年分削減して創設）
6．会報発行費	5,350,000	印刷代（1,100,000）、郵送料（3,000,000）、封入作業・封筒作成（1,200,000）他
7．業務委託費	700,000	名簿整備、懇親会司会者謝礼 他
8．プロジェクト活動費	1,000,000	交通費、消耗品、例会交通費、印刷費、会議費、通信費 他
9．寄附	500,000	北星学園創立100周年記念館運営（維持・保存）他
Ⅲ．予備費	1,376,475	
Ⅳ．資金積立金	5,000,000	2017年度積立分（5,000,000）
Ⅴ．次年度繰越金	0	
＜支出計＞	29,626,475	

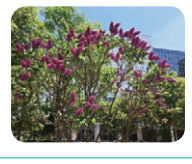
2018年度 大学・同窓会関係 行事予定

2018年

4月5日（木） 入学式
9日（月） 前期授業開始
5月2日（水） 学園創立記念日（授業実施日）
19日（土） パイプオルガンコンサート 14：00～（会場：大学チャペル）
6月1日（金） 体育祭（～2日）
14日（木） 同窓会幹事会
23日（土） 第1回キャンパス説明会
7月30日（月） 前期授業終了
8月4日（土） 第2回キャンパス説明会
25日（土） **同窓会北見支部懇親会**
9月1日（土） **同窓会釧路支部懇親会**（設立30周年記念行事）
『大谷地だより』78号発行
2日（日） **同窓会帯広支部懇親会**
8日（土） **同窓会函館支部懇親会**
14日（金） 後期授業開始
22日（土） 第3回キャンパス説明会
同窓会旭川支部懇親会
28日（金） 前期末卒業式
29日（土） 本谷美加子オカリナコンサート 14：00～（会場：大学チャペル）
10月6日（土） 星学祭（～9日）
11日（木） 同窓会幹事会
20日（土） **同窓会定期総会・懇親会**（会場：全日空ホテル）
※大谷地キャンパスの施設見学を予定
11月10日（土） **同窓会東京支部懇親会**
15日（木） 同窓会幹事会
12月1日（土） **同窓会千歳支部懇親会**
8日（土） クリスマスコンサート 14：00～（会場：大学チャペル）
21日（金） クリスマス礼拝（会場：大学チャペル）
年内授業最終日

2019年

1月19日（土） 大学入試センター試験（～20日）
21日（月） 後期授業終了
2月6日（水） 一般入学試験（～8日）
3月14日（木） 卒業礼拝（会場：大学チャペル）
15日（金） 卒業式・卒業記念祝賀会
『大谷地だより』79号発行



支部だより

旭川支部

旭川支部の活動について

旭川支部長　西岡　将晴

旭川支部は、昨年、創設35年目を迎えました。毎年の支部総会・懇親会の開催に加え、年1回発行の同窓誌「サマリタン」により支部会員から母校に寄せる思いや近況報告を掲載させていただいております。

また、昨年は、卒業生がなか母校に行く機会がないとのことから、新しく建設された施設を見学するために大谷地キャンパスと、北星の歴史を知る機会を得て母校に対する愛着を深めるために旧短大キャンパスに行くバスツアーを大学のお力添えで企画実施しました。少しでも同窓会に興味を持っていただき、支部の活動に参加して旧交を温めていただきたいとの思いからこのツアーを実施しました。旭川支部は、南から北までエリアが非常に広く、遠方からの参加が難しい面もあるかと思いますが、学び舎を同じくした多くの仲間の皆さんとお会いできるのを楽しみにしておりますので、気軽に参加していただきたいと思います。

母校バスツアー　百周年記念館前にて

母校バスツアー　大谷地キャンパスにて

北見支部

本年度の北星学園大学同窓会北見支部の活動について

北見支部長　三浦　鶏一

当支部は、昭和62年12月に3番目の同窓会支部として設立し、30年を超える活動を続けております。

昨年の総会・懇親会は、2017年8月27日（日）に、『肉のなごみ』にて行いました。同窓会支部会員23名、大学からは田村学長他教職員10名、同窓会本部から松倉会長、森谷副会長と総勢36名の皆様にお集まりいただき、大変感謝申しあげます。

懇親会では、料理に舌鼓を打ちながら、北見特産品に加え、紋別市ご有志より提供を受けた紋別名産蒲鉾などが当たる宝引きに興じ、賑やかに祝宴を進め、今年も遠路駆けつけていただいた宮川紋別市長の乾杯で一次会を締めさせていただきました。

その後の二次会でも、2年連続登場のO女史から十八番の「六本木心中」をシャウトいただき、熱い夜となりました。

20代の初参加組が増え、北星同窓生のつながりが着実に管内に広がっていることを実感することができました。

これからも、同窓会本部や大学のお力をお借りしながら、オホーツクに点在する北星同窓生が世代を超え集まり、絆を感じることができるような支部活動となるよう努めていきたいと存じますので、皆様の変わらぬご支援ご鞭撻をよろしくお願いします。

H29 懇親会「お肉おいしい！」

H29 懇親会「宮川紋別市長締め」

帯広支部

何事もなく、盛会に

帯広支部長　成田　啓介

2017年9月2日（土）帯広支部定期総会・懇親会を帯広市内「アパホテル帯広駅前」で行いました。

同窓会本部より松倉千春会長、北本佳子幹事、駒ケ嶺剛史幹事、大学からは鈴木剛副学長をはじめ18名、支部会員25名の参加となりました。

永年、支部の幹事として聖書（詩篇23篇）の朗読を担当していた齊藤彰彦様が急逝し、黙とうを捧げました。今年はCDで流す讃美歌のみとなり、大変寂しく感じました。齊藤幹事の張りがあり、重みのある朗読にはかないません。心よりご冥福をお祈りいたします。

2016年は、8月30日（火）に十勝を襲った台風10号の影響で、大学関係者の出席は難しくなり、同窓生一同、楽しみが半減しました。昨年は何事もなく、同窓会が行われたことを天の恵みと思い感謝しています。

帯広・十勝の食材をふんだんに使用した料理を食べながら、懐かしい思い出話や、近況報告しながら、懇親会は進んでいきました。好評をいただいたお楽しみ抽選会も行い、豪華な景品ではないですが、楽しんでいただけたと思います。

最後になりますが、去年の帯広支部定期総会で、支部創設から支部長を務めた樋渡喜久雄が退任し顧問となり、副支部長の成田が支部長に就任しました。これからもよろしくお願いいたします。

懇親会の様子

樋渡前支部長の働きに感謝して

函館支部

2017年函館支部設立30周年を終えて

函館支部長　畑中　博史

2017年で函館支部は設立30周年を迎えることができました。これまで支部を盛り立てていただいた同窓生の皆さんや同窓会本部、各支部、学長をはじめとする大学の教職員の皆さんのご支援のおかげと感謝申しあげます。

昨年の総会・懇親会は設立30周年記念行事とあって、支部役員がいつにも増して気合を入れて準備に取り組んできました。記念行事は2017年9月9日に函館山山頂のクレモナホールで夜景をバックにピアノ、フルートなどによる記念コンサートを行い、その後懇親会を同じく山頂のレストランで、こちらも夜景をバックに開催しました。コンサート、懇親会には同窓生26名、同窓会本部より松倉会長はじめ4名の役員、同窓会各支部長、大学からは田村学長をはじめ14名の教職員の皆さん、後援会より佐藤副会長に参加していただき、30周年にふさわしい楽しい時間を過ごしました。

30周年ということもあり、同窓生同士が声を掛け合い、たくさんの同窓生に参加してもらうことができ、初めて参加する同窓生も7名いました。久しぶりに参加した同窓生、いつもの顔の同窓生、初めて参加する同窓生と例年になくバラエティーに富んだ同窓会となりました。

懇親会は同窓生、教職員の方々から自己紹介や近況をお話していただき、懐かしい話や最近の話などを聞き、楽しく懇談することができました。恒例のビンゴゲームでも盛り上がりました。

この日は支部役員の思いが通じたのか、山頂から雨上がりの空気の澄んだ絶景の夜景を見てもらえることができ、参加者の皆さんに喜んでいただけたかなと思います。

今後も40周年を目指し一人でも多くの同窓生に参加してもらえるよう、函館支部を盛り上げていこうという思いを一つにして終了しました。

函館山山頂で行った記念コンサート

東京支部

設立30年を迎えた東京支部活動のご報告

東京支部長　遠田　嘉憲

設立30年を迎えた東京支部は、毎年5回の幹事会を開催しています。また幹事会とは別に、広報担当者会議を年3回開催し、支部会報を発行しています。昨年は37号の支部会報「ライラック」を発行することができました。

2017年11月には、設立30周年を記念し、東京湾のクルージングディナーを実施し、大学関係者、本部同窓会及び各支部の皆様にご参加いただき、記念行事を盛大に終えることが出来ました。ご参加いただいた皆様に心からお礼申しあげます。また、記念行事の一環として、「会報で見る東京支部30年の歩み」と題して、支部会報1号から37号の編纂をおこなうことが出来ました。まだ、部数が残っておりますので、ご希望の方はご連絡ください。

私たち東京支部は今後とも、支部会員の皆様と共に、同窓会支部活動を持続的に強めていく所存です。

東京湾のクルージングディナー

釧路支部

釧路支部は今年で30周年!!

釧路支部長　角　隆史

当支部は、2017年9月3日（日）、総会・懇親会をホットソースにて開催し、多くの支部会員が参加して会員相互の交流を深めました。当日は地元の海や山の幸に舌鼓を打ちながら、年1回の再会に会員同士の近況や大学時代の昔話に花が咲き、最後は恒例の横山副支部長によるダンスで参加者全員が笑顔となって無事に終了しました。

さて、当支部は今年で設立から30年目に入り、節目の年を迎えます。今年の総会・懇親会は2018年9月1日（土）に開催を予定しており、設立30周年記念行事を盛大に行おうと、現在、参加者全員が楽しめる魅力ある催しを鋭意企画中であり、参加者を大募集中です！

釧路市は一昨年、国の「観光立国ショーケース」に金沢市、長崎市とともに選定された他、来年には釧路札幌冬季国体が開催されるなど、今、国内でも注目度の高い地域です。アットホームな当支部の活動に是非ともご参加をお待ちしております。また、この度、ご卒業される皆さん、あるいはご友人やお知り合いで赴任地が釧路根室地方という方がいらっしゃいましたら、幹事の櫛部までご連絡ください。

千歳支部

職場訪問　新千歳空港

千歳支部長　千葉　英二

当支部は、同窓会支部の中では一番若い7番目の支部で、設立以降、千歳市・恵庭市の会員で主に構成されておりましたが、平成21年から苫小牧市の短大部の同窓生も加わり、現在は主に3市の同窓生を中心に活動を続けております。

当支部は、盛りだくさんの交流事業を行っており、昨年1月のボウリング大会を皮切りに5月のキャンプ場でのBBQ、7月の「よさこいソーラン千歳トーナメント祭」参加の「井原水産&北星学園大学」チーム応援、そして12月に定期総会及び懇親会などを開催しております。

今後も支部会員の交流事業を行いながら、大学の応援団としてさらに活動を続けて参りますので、短大OBの方々も含め多くの同窓生の参加をお待ちしております。

職場訪問　新千歳空港

新企画プロジェクトからのお知らせ

講演会・コンサート等も回を重ねる毎に、多くの皆さまのご参加をいただいております。これからも一層充実した内容に向けて努力したいと考えております。今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いします。

コンサートの申し込み方法について

パイプオルガンコンサート

申込み受付期間：**4月23日(月)～5月18日(金)まで**

定員になり次第締め切らせていただきます。

「パイプオルガンコンサート参加希望」と、氏名、ふりがな、電話番号、参加希望人数を明記の上、北星学園大学ホームページの「申込フォーム」、ハガキ、電話、e-mailでお申し込みください。

なお、お申し込みされた方はコンサート当日直接大学へお越しください。

事前の整理券等は発行しません。

お申し込み・問い合わせ先

〒004－8631
札幌市厚別区大谷地西2丁目3－1
北星学園大学同窓会事務局
同窓会プロジェクト係
TEL 011-891-2731
メール：**dousoukai@hokusei.ac.jp**

お願い　友人、知人の方もぜひお誘いください。
未就学児の入場はご遠慮ください。
公共の交通機関でお越しください。

講演会報告

長谷川義史　講演会
「絵本で子どもたちに伝えたいこと」

長谷川さんの講演日11月4日（土）は雨まじりの寒い日でした。コートなしの舞台衣装でタクシーから降りてこられ、講演会場へ直行、会場設定の打ち合わせからサイン会まで、時間が凝縮されたように進んだ印象でした。

少しの休憩をはさんでの講演会は、長谷川さん初翻訳のジョン・クラッセン『どこいったん』の読みきかせから始まりました。語られる大阪弁がシュールな話をどこかとぼけた味わいに感じさせて、英語版とは違う味があるのでは、と思わせられたりしました。

次はデビュー作『おじいちゃんのおじいちゃんのおじいちゃん』の読みきかせでした。生まれて今ここにいるのは、お父さんお母さんがいるから。そのように命が繋がるということが昔から不思議だったと話されました。

畳半分ほどの白い大きな紙に墨をつけた筆で、さらさらと描く自虐ネタの藤井寺市肉屋のチーズの話に会場の皆さんは大爆笑でした。

また、『おかあちゃんがつくった』は、長谷川さんの子ども時代のお母さんの活躍を、子どもも心に恥ずかしくも嬉しかった思い出として活写された、おかしくてしんみりとした味わいです。話の中のヨシオくんというキャラクターが大好きと言って、作品に出て来るヨシオくんバッグを手作りされ、長谷川さんにお見せしていたファンの方もいました。次の『だじゃれ世界一周』は宗教とは無関係になるように配慮されたそうです。それと共に子どもたちには勉強でも何でも楽しんで取り組んでほしい、と話されました。『おならまんざい』を読んだあと、ひとときこの世に留まり、名もなく消えてゆくのが理想で、歴史に名を残そうなんてやらしい、と本音をポロリ。『へいわってすてきだね』は、当時小学校1年生安里有生（あさとゆうき）君の詩を読んで感動し、是非本にしたい、平和への思いを描かなければと、有生君と御両親を訪ね、承諾を得て本にされたそうです。最後にウクレレと歌を披露されました。子どもたちに贈る『ようちえん　いややブルース』は歌も素晴らしく、子どもたちの心に寄りそう長谷川さんの世界を楽しみました。

そして、涙が出るほど笑ういっぽう、いのちを繋いだり、平和を願う大切さをあらためて感じた、楽しく心にしみる講演会でした。

コンサート報告

TENGO「情熱ライブ」

去る9月16日（土）午後2時から、TENGO「情熱ライブ」を開催しました。TENGOとは、バイオリン奏者天野紀子さんとアコーディオン奏者後藤ミホコさんの苗字をもじった名称です。後藤さんは3度目、TENGOとしては初めての公演でしたが、さらにパワーアップし、エネルギッシュな演奏とユーモア溢れるトークで聴衆を魅了しました。

第1部は「チャールダーシュ」で始まり、映画音楽やロシアンメドレーなど、第2部は「黄昏のビギン」「タンゲーラ」「また君に恋してる」など。誰もが一度は聞いたことのある曲が並び、懐かしさで胸がいっぱいになった方も多くいらしたようです。アンコールは「アドロ」と映画「男はつらいよ」のオープニングテーマ曲（スタジオミュージシャンだった天野さんが弾いたそうです）。通路を歩きながらの演奏で、会場は大いに盛り上がり、皆の笑顔が満開になりました。

バイオリンとアコーディオンのデュオは珍しく、新鮮で、その組み合わせの妙に感心させられたお客さんもたくさんおり、アンケートでは再演を望む声が寄せられました。

コンサート報告

ムジカ・アンティカ・サッポロ　コンサート「哀しみの聖母」

去る12月9日（土）午後2時より「哀しみの聖母」と題し、札響ヴィオラ奏者の物部憲一さん主催の「ムジカ・アンティカ・サッポロ」に駒ヶ嶺ゆかりさん（アルト）、阿部雅子さん（ソプラノ）をお招きしてコンサートを開催いたしました。

第1部はバロック時代の背景を基にバロック音楽と古楽器（チェンバロ）についての解説で始まりました。

北ドイツで活躍したD・ブクステフーデ、J・S・バッハのカンタータ、H・パーセルやG・F・ヘンデルの歌劇等の作品が演奏され、哀愁に満ちた曲と歌声とのハーモニーはバロック時代へとタイムスリップしたかのような感覚でした。

第2部はG・B・ペルゴレージのスタバート・マーテル〈悲しみの聖母〉（全曲）の演奏と、アルトとソプラノの歌声がチャペルに響き渡りました。

聖母マリアの思いを、時には荘厳な、時には語りかけるような調べに胸打たれ、ペルゴレージの偉大な世界観にひき込まれる40分間となりました。

物部さんの作品・作家に対する丁寧な説明がわかりやすく好評でした。アンコールは「もろびとこぞりて」、「きよしこのよる」を観客の皆さまと一緒に歌い、会場がクリスマスの暖かい空気に包まれながら、楽しく終わりました。

卒業生から一言

「縁」に恵まれた4年間

文学部 英文学科
蜂谷（はちや） 優花（ゆうか）

北星学園大学で過ごした日々は、たくさんの「縁」に恵まれた4年間であったと思います。

4年間通して続けた演舞同好会のサークル活動では、これまで経験したことのない感動と挑戦、なにより一つの目標に向かって長い期間、共に努力し、互いに支えあえる仲間との出会いが自分を成長させてくれました。

また学業の面では、英語教育ゼミに所属し、小学校への英語の訪問授業に取り組んだことが大きな経験となりました。小学生を相手にした授業内容の組み立てや、予行演習を通して事前準備を行いましたが、実際に生徒を前にすると、想定通りに進まないことや、思いもしない質問など、一筋縄ではいかないことも多々ありました。その中で、一つ気付いたことは、いかなる場面においてもコミュニケーションをとることが大切であるということです。授業が終わり、楽しかったと言ってくれた生徒たちにとって、この授業が少しでも英語を好きになるきっかけになってくれたらと思います。

大学生活で得た経験や、仲間との出会いは、これからの自分を支えてくれるかけがえのない宝物です。北星学園大学で出会った、たくさんの「縁」に感謝し、これからの出会いを大切にしていきたいと思います。

北星学園大学での4年間を振り返って

経済学部 経営情報学科
片山（かたやま） 由貴（ゆき）

わたしが北星学園大学で過ごした4年間はあっという間に過ぎていきました。高校時代より自由な時間が増え、大学で学びながら趣味も充実させることができました。3年次からはじまった専門演習ではゼミ長を務め、ゼミナールの仲間たちと一緒に様々なことを行いました。東北の被災地応援プロジェクトとして商品を販売したり、新さっぽろの商業施設でお客様にアンケートを取り、その後まとめて発表したり、貴重な経験をたくさん積むことができました。

大学入学時に自分なりに目標を立てていましたがコツコツと積み上げ、きちんと達成することもできました。

また、IR広報戦略室の方々にはStarboxで特集を組んでいただいたり、パブリシティ広告でテレビに出演させていただいたりとたくさんお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。

大学卒業後は、北星学園大学で学んだことを生かし、自分なりにキラキラできる場所で活躍していけたら良いと思っています。ありがとうございました。

一歩踏み出すことの勇気

社会福祉学部 福祉計画学科
舘岡（たておか） 佑人（ゆうと）

私の大学生活は、常に前向きに恐れることなく授業や学内の活動に取り組み、探究心は絶えることがありませんでした。それは、分からないことを恐れて立ち止まることが、どんなに大学生活を無駄にしてしまっているかを経験したからです。

その最たるものが、2年次に履修した海外事情です。学部も学科も異なった学生たちが履修していましたが、回数を重ねるにつれ、それぞれがグループワークの中で団結していきました。しかし、想いは虚しく突然の中止に。天を仰ぎましたが、そこからが本当の授業の始まりでした。現地へ行けないなら札幌で教授や社会人の外国人を招いてインタビューをしようとプログラムを修正し臨みました。正しい英語が話せないからコミュニケーションを怠るのではなく、伝える意思が重要だということ。そして失敗を恐れず自分自身をさらけ出すこと。この時の出来事は大学生活の全てに活かされるものとなりました。

大学生活後半には、国際ラウンジ学生チームHUITに所属し留学生と学部生の交流促進のための企画運営を行い、SMC団体の北星ネットでは被災地派遣ボランティアの運営に、より一層携わりました。その源は「一歩踏み出す勇気」です。失敗も成功も何事も踏み出さないと成り得ません。北星という学び舎での4年間は、かけがえのない仲間や寄り添ってくださる温かい教職員に支えられた生涯忘れられない日々となりました。

あれから2年、そして卒業

短期大学部 生活創造学科
齊藤（さいとう） 光紅（みく）

私の北星短大での2年間は、不安から始まりましたが、笑顔で終わることのできるものでした。

それまで帯広で実家暮らしをしていた私は、入学と同時に一人暮らしを始めました。洗濯や掃除など、全て一人でしなくてはならず、短大生活を軌道にのせながら、家事や自己管理もする、その両立への不安もあり、ホームシックにもなりました。しかし、同じ一人暮らしの友人と不安を分かち合い、同じゼミの仲間や先生と過ごす毎日が楽しかったおかげで、今ではすっかり慣れることができました。

生活創造学科は、自分の興味のある講義を自由に選ぶことができ、幅広い分野を学ぶことができました。私は生活福祉ゼミに所属しており、貧困や虐待、性別役割分業などの福祉問題について深く学び、今まで知らなかった現状や社会構造を知ることができました。以前と今とでは福祉に対する考え方も変わり、これからも必ず役に立つものだと強く感じています。

春からは、地元帯広の金融機関で営業事務として働きます。辛いことがあってもめげずに、短大生活で学んだ知識を活かして素敵な社会人になります。北星短大で過ごした時間や友人、先生は永遠の宝です。卒業生として誇りを持ち、これからも人生を歩んでいきます。

退職教職員からのメッセージ

今年度退職される14名の教職員のうち4名の方からメッセージをいただきました。

北天の星が輝き続けるために

文学部 英文学科 教授
伊藤（いとう） 章（あきら）

43年間の長い教師生活を終えようとするいま、感慨深いものがある。11年前に北大を定年前に辞し、こちらに移るにあたっては躊躇もあったが、人生の秋を迎えつつあった者を暖かく迎え入れてくれた北星にむしろ感謝するばかりだ。

というのも、ずっと教えたかったアメリカ文学史の講義を北星で受け持つことができたし、ゼミを担当することもできたからだ。行政法人化以降の旧国立大学は中期目標・中期計画、点検評価、改革のための改革案など様々な（ときに愚かしい）書類作りで忙しくなる一方であったが、こちらではペーパーワークにあまり煩わされずに教育と研究に専念できたからでもある。アメリカのエスニック文学と都市小説に関する『エトノスとトポスで読むアメリカ文学』、アメリカ演劇に関する『アメリカ演劇とその伝統』と、ライフワークめいたものを二冊、後援会の出版助成を賜って上梓できたことに対しては、感謝の念が尽きることはないだろう。人生の秋は実りの秋でもあったのだから。

同僚たちや大勢の事務職員からもこんなにお世話になった北星だから、その行く末が気になる。北星には専門学校のようになってもらいたくない。社会のニーズなどという、流行りものに左右されてほしくない。あくまでもリベラルアーツ（自我を狭い檻から解き放ってくれる教養教育）を基盤に、学生たちをリベラルで寛容な大人として成熟させる場であってほしい。そうすれば、北天の星はこれからも輝き続けるであろう。

終わりの時に

文学部 教授
神谷（かみや） 幹夫（みきお）

始めたまたまうまく行くというのは、たいへんまずい出発である。

アラン

なぜなら、「ある存在がわれわれに好意を約束するやいなや、われわれの認識能力はすぐに停止し、期待すること以外の力は働かなくなる」から。始めたまたまうまく行くのは、まずい出発だ。ほんとうである。しかし、これがわかるには「年季」がいる。何度失敗に悔やんだだろうか。最初から、人は自分が祝福されていることを欲するからだ。失敗は裁きだと思うからだ。ことがらに縛られているのだ。出来事のいいなりになっている。人がいいのだろうな。

始めうまく行ったら、次もそうだと思う。そのうちに結果に、（結果がすべてだと）眠り込む。もう考えることなどしない（ほんとうは、結果が「すべて」である。が、意味がまったく違う。だから、結果などにこだわってはいられないのだ。終わりの時に想う。終わりが始めに依存していることを。

大学は終わる。しかし学びは終わらない。

「入学」と「卒業」そして終活へ

短期大学部 生活創造学科 教授
溝口（みぞぐち） 雅明（まさあき）

1992年、縁あって北星女子短大生活教養学科に「入学」しました。当時35歳の私にとっては6回目の転職でした。あれから26年、五千人を越える学生たちが入学し、卒業していきました。四十代半ばまでは「社会に送り出す」という気持ちだったのですが、自分の子どもと同い年の学生が卒業する頃から、「取り残されている」と感じるようになりました。色々やりたいこともあって、定年前倒しで元気なうちに「卒業」させてもらうことにしました。

2007年からFacebookを始めています。実名と大学名を公開していたので、昔の卒業生とも連絡が取れるようになりました。今は趣味の俳句や短歌を書く【オヤジ記念日】と、学生たちや卒業生たちとの交流を書く【ゼミ日誌：不定期】の2つを掲載しています。卒業生たちからは仕事や職場の悩み、転職相談メールがあります。就活・進路状況なども書いているので求人情報をくれた卒業生がいて、何人もの学生が救われています。ありがたいことです。社会に出ればイヤなこと、苦しいことも多いと思いますが、愚痴や不満を聞いてもらうだけでも気分転換になります。もちろん、問題解決のヒントを提供することも出来ます。時にはユーモアや毒舌も交えてね。私のオヤジ・オバサン友達も人生の先輩として有益な助言を書いてくれます。名前は「仮名」です。ご安心を。

さて、写真と似顔絵は「あなたが死んだら、墓石に刻まれる言葉」というお遊びゲームをした時の結果です。こんな説明も：「あなたのユーモアセンスは死んでも変わりません！この墓石の言葉はあなたの愛する人々への最後のメッセージです。絶対に忘れられないでしょう」。短大クリスマス礼拝に一首詠みました。「さようならチャペルの十字架・オルガンよ　最後の讃美歌しみじみ唄う」。今後は終活へ向けて色々と勉強したいと思います。

北星での出会いに感謝

社会連携課 職員
長澤（ながさわ） 武雄（たけお）

北星学園に奉職して43年、法人本部に始まり大学、余市高に勤務させていただきました。大学には通算26年、教育・研究活動を支える仕事に携わり、そこで多くの人と出会いました。その一つ一つの出会いの中では、いつも学生や教職員のみなさまから学び、そして支えていただきました。

大学では施設設備の維持管理に関わる業務から国際交流、情報システム、言語部門、共通部門、学部・学科、学生支援、管理運営に関わる業務、そして北星オープンユニバーシティと、多くの業務に関わり、それらをとおして出会った学生、教職員、同窓生をはじめ、学外の関係する皆様に多くのことを学ばせていただき、働くことができましたことを感謝しています。

その中でも、物事に取り組む姿勢として、先ず第一に誠実であること、そして自分の考えは明確な理由（根拠）を添えて伝え、それに基づく過程と成果をわかりやすく説明することが大切であるということを学びました。組織として物事を成し遂げるには、リーダーシップも必要ですが、組織に関わる全員がベクトルを合わせて様々な困難を乗り越えるための柔軟な調整が求められるということを教わりました。

北星学園大学には、様々な職務をとおして多くの出会いを与えいただき、成長できましたことに感謝いたします。ありがとうございました。

北星学園大学の応援隊の一員として、これからの益々のご発展を祈念しています。

北星学園大学サッカー部

北星学園大学サッカー部 創部50周年記念祝賀会

2017年9月16日（土）、北星学園大学サッカー部創部50周年記念祝賀会を大学会館3階で行いました。当日は、歴代顧問の先生方2名を含め、第一期生から現役学生までの総勢80名以上の参加がありました。

はじめに初代顧問であった三宅章介先生に祝辞をいただき、続いてサッカー部創部メンバーの一人である片山敏治様の乾杯で祝賀会が始まりました。

中村先生の乾杯の言葉

やがて祝賀会も中盤に差しかかる頃、現顧問である中村一浩先生の指名で歴代OB・OGの中から中村先生が特に印象に残っている方を指名し、一人一言スピーチをしていただきました。スピーチでは、歴代のキャプテンや得点王、元寮会部長に、元マネージャーなど、突然の指名にも関わらず大いに盛り上がるお話で祝賀会終了予定時刻を大幅に延長するほどでした。

最後は、33年間の長きに渡りサッカー部顧問を務めていただいた中村一浩先生の乾杯で祝賀会は終了となりました。

後日、参加したOBの方から「みんな感動していました」「新しい校舎も見学でき有意義なパーティで喜びもひとしおでした」との感想もいただき、50周年という節目の年に祝賀会を開けたことを喜ばしく思った次第です。

『学生医療互助会の企画』 50円夕食キャンペーンを実施しました！

多くの学生たちでにぎわう夜の食堂（大学会館３階）

12月8日㈮のメニュー
★グリルチキン（カレー風味）
★小鉢2品
★フルーツポンチ1品
★ごはん、玉子スープ

2017年12月、学生医療互助会では初の企画となる50円夕食キャンペーンを実施しました。この企画は、昨年度から始まった学生の食生活改善を目的とした朝食キャンペーンの「夕食版」として大学生協と連携をし、50円の夕食を提供しました。

初の試みではありましたが、夕食ということで朝食キャンペーンにはなかなか参加できない学生や一人暮らしで作るのが大変、部活動や講義前にごはんを食べたいという多くの学生が訪れていました。

内容は朝食以上に栄養もボリュームも満点な、主菜・ご飯・味噌汁・小鉢2品・デザート1品の日替わりで約700円相当のメニューを提供しました。（内、650円分は学生医療互助会負担）

今回実施された3日間とも大変好評で、限定150食を完売いたしました。

学生医療互助会では、今後も学生たちが健康的な学生生活を送れるようにあらゆる面からサポートをしていきますので、引き続きのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

サークル活動ニュース

2017年7月1日～2018年1月31日報告分から抜粋

【アイスホッケー部】
◆札幌市民体育大会　準決勝
◆平成29年度北海道学生リーグ兼インカレ予選会
◆第15回北海道アイスホッケー兼第90回日本学生氷上競技選手権大会北海道予選
◆第15回北海道学生アイスホッケーリーグ

【アカペラサークルぽらりす.】
◆クローバー夏祭り
◆同窓会定期総会・懇親会
◆ぽらフェス2017
◆「porals station」1年生主体ライブ

【アメリカンフットボール部】
◆秋季選手権大会
◆2017年秋季シーズン大会
◆秋季リーグ戦

【アルティメット部】
◆第28回全日本大学アルティメット選手権大会北海道・東北地区予選

【映画研究会】
◆自主制作映画の撮影
◆上映会　月に1回程度で開催
◆ホラー映画グランプリ

【演劇サークル】
◆2017年北星学園大学演劇サークル星学祭公演

【演舞同好会】
◆酪農学園大学　白樺祭
◆すすきの祭りYOSAKOIソーランバトルすすきの観光協会大賞
◆室蘭工業大学　工大祭
◆白老八幡神社例大祭

【おとしより研究会】
◆北広島リハビリセンター祭り
◆北翔大学　北翔祭
◆アンデルセングルメ祭り2017

【弓道部】
◆第64回全道弓道選手権大会
◆平成29年度第21回中央地区弓道大会
◆第58回札幌市民大会
【大学女子の部】　優　勝：中野　彩理
◆第49回全道学生弓道新人戦

【競技ダンス部】
◆前期新人戦
◆東北戦
◆全道戦

【軽音楽部】
◆7月ライブ
◆学祭ライブ

【剣道部】
◆第65回北海道学生剣道優勝大会
◆第43回北海道女子学生剣道優勝大会
◆第55回北海道学生剣道新人戦大会
◆第34回北海道女子学生剣道新人戦大会
◆第53回全日本基督教関係大学剣道大会

【硬式庭球部】
◆北海道学生テニス選手権大会（夏季大会）
【女子シングルス】　準優勝：三浦　萌香
【女子ダブルス】　優　勝：三浦　萌香

【硬式野球部】
◆秋季リーグ戦
【3部リーグ】　準優勝
◆秋季トーナメント戦

【サッカー部】
◆インディペンデンスリーグ
◆学生リーグ
◆アイデムカップ

【社会福祉研究会】
◆学習報告会　月に1回程度で開催

【写真部】
◆新人展

【準硬式野球部】
◆第35回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会

【障がい児者福祉研究会】
◆児童デイサービスボランティア
◆託児ボランティア

【少林寺拳法部】
◆少林寺拳法創始70周年記念第48回少林寺拳法北海道学生大会
【自由単独演武男子弐段以上の部】
第1位：尻江　幸市

【書道部】
◆第23回光芒書展

【吹奏楽部】
◆チャペルコンサート
◆定期演奏会
◆CAPOコンサート

【ストリートダンスサークル流】
◆Updart vol.11
◆星学祭
◆DANCE ALIVE HEROS RIZE

【武田流中村派合気道部】
◆第42回学生合気道選手権大会（全国大会）
◆第13回北海道学生選抜合気道大会兼第18回新人戦
【新人部　捕技乱取の部】
優　勝：山根　耕
【新人部　打ち込み】
第2位：山根　耕
【個人捕技乱取の部】
第1位：沖津　大樹
【個人綜合乱取の部】
優　勝：杉崎　伸明
第2位：山田　侑弥

【軟式庭球部】
◆平成29年度秋季北海道学生ソフトテニス大会
◆北海道学生ソフトテニス新人大会
◆第58回北海道学生ソフトテニスインドア大会

【軟式野球部】
◆秋季大会

【バスケットボール部】
◆男子第69回・女子第62回北海道大学バスケットボール選手権大会
◆第2回ウィンターリーグ
【女子Bブロック】　第2位

【羽球部】
◆第59回北海道学生バドミントン秋季リーグ戦大会
【女子2部リーグ】　2位
◆第64回北海道学生バドミントン会長杯争奪戦選手権大会
◆第48回北海道学生バドミントン新人戦大会

【バレーボール部】
◆第44回原崎杯北海道大学男女バレーボールリーグ秋季大会
【男子3部リーグ】　1位、2部昇格

【ハンドボール部】
◆平成29年度第58回札幌市民大会ハンドボール競技

【文学研究会】
◆読書会　月に1回程度で開催
◆書評作成　機関紙発行補助

【放送研究会】
◆第34回NHK全国大学放送コンテスト予選

【ボランティアサークル able】
◆社会福祉法人アンビシャス　ボランティア通年定期的に参加
◆ふるさとまつりボランティア
◆厚別区夏まつりボランティア
◆どろんこジュニア　通年定期的に参加

【ラグビー部】
◆第47回北海道選手権大会　優勝
◆セブンズ大会
◆インカレ敗者戦

【ラクロス部】
◆ラクロスフレッシュマンズキャンプ2017
◆第23回北海道学生ラクロスリーグ戦
◆秋季大会
◆2017年度夏季女子1年生大会
◆2017年度オータムステージ
【男子】　第2位

【陸上競技部】
◆第90回　北海道陸上競技選手権大会
◆天皇賜盃第86回日本学生陸上競技対校選手権大会
◆第72回国民体育大会陸上競技大会北海道選手選考会
【成年男子走り高跳び】　2位
◆北海道知事杯第29回北海道大学駅伝対校選手権大会兼秩父宮杯第49回全日本大学駅伝対校選手権大会北海道地区選考会
◆第21回道央陸上競技選手権大会
【女子　走幅跳】　第1位：藤澤　言羽
【女子　三段跳】　第2位：藤澤　言羽
◆北海道マラソン2017
◆第46回北海道陸上競技選手権大会
【女子　三段跳】　第1位：藤澤　言羽
【女子　100mH】　第1位：遠山ちひろ
◆第82回札幌陸上競技選手権大会
◆第72回空知陸上競技選手権大会
【男子　800m】　第1位：宍戸　遼真
他　11名

「大学サポーターズ寄付金」を開始しました

北星学園大学及び短期大学部では、財政基盤の充実・強化を図り、教育研究、学生支援、社会貢献等に係る各種事業をさらに発展させることを目的に「北星学園大学サポーターズ寄付金」を開始しました。

この寄付金は、寄付者自らの思いを直接活かせるよう、ご寄付の使途先をお選びいただけます。またクレジットカードの利用によりインターネットでもお申込みいただくことができ、税控除の対象ともなります。

皆さま一人ひとりが大学・短大部のサポーターとして、ご協力いただけると幸いに存じます。お申込み方法等の詳細につきましては、大学ウェブサイトをご覧ください。

http://www.hokusei.ac.jp/donation/

編集後記

この3月で本学を卒業された皆さま、ご卒業おめでとうございます。本日から皆さまは同窓会の一員となります。同窓生一人一人のつながりが同窓会活動を支えています。住所や勤務先が変わられた際には、同窓会事務局までご一報ください。次号では2018年10月20日（土）開催予定の総会・懇親会のご案内をいたします。同窓生同士と教職員が交流できる貴重な機会ですので、多くの方のご参加をお待ちしております。

〈同窓会事務局　西藤〉

大谷地キャンパスにて 旭川支部のみなさんと

大学ホームページから卒業生の住所変更ができます。ご利用ください。

北星学園大学同窓会事務局
札幌市厚別区大谷地西２丁目3-1
〒004-8631
TEL：011-891-2731
メール：dousoukai@hokusei.ac.jp
http://www.hokusei.ac.jp/alumni_association/